

ぴしゃっと!



公益社団法人 福岡県理学療法士会



撮影者：大島 弘三 氏

近くを歩いていると、力強く楽しそうに遊んでいる子猫を見つけたのですぐに撮影しました。なぜか自分が元気をもらえた気がしました。

No.2 CONTENTS

2015年2月号

【巻頭言】公益社団法人福岡県理学療法士会 副会長 永友 靖 … 1
理学療法って? … 2
お仕事紹介 … 3
第1回 スポーツ大会 … 4
公益事業推進部 Life Work Standing by your side … 5・10
腰痛体操～座って・寝て～ … 6～9
支部だより … 11・12
平成26年度 功労賞紹介、夢を叶える～新人奮闘記～ … 13
ふくおかふえ、おすすめの本 … 14
理学療法体験記、記事大募集 … 15

	施設数		会員数	
北九州Ⅰ地区	115施設	290施設	769名	1,819名
北九州Ⅱ地区	97施設		679名	
筑豊地区	78施設	371名		
福岡Ⅰ地区	138施設	298施設	927名	2,064名
福岡Ⅱ地区	99施設		743名	
福岡東地区	61施設		394名	
筑後Ⅰ地区	73施設	151施設	652名	
筑後Ⅱ地区	78施設		568名	
合計	739施設		5,103名	

(平成27年1月16日現在)

巻頭言

予防医学と リハビリテーション

永 友 靖

公益社団法人福岡県理学療法士会 副会長



現在、日本における病的死亡原因の多くは、癌・心疾患・脳血管疾患・肺炎などの生活習慣病でしめられています。また一方では、心の不調が原因となる心身の病が非常に増えてきています。

予防医学とは、狭義には、食生活を初めとする生活習慣を正し、良質なイメージを心に持ち、病や心身の不調に抵抗できる身体を作ることではありますが、より広い意味で、傷害の予防・寿命の延長・身体的・精神的健康の増進も予防医学の一環と考えられています。このような観点から、予防医学は下記のように分類されています。

第一次予防；疾病の予防

健康への啓発、健康増進、特殊予防（教育、予防接種など）

第二次予防；疾病の早期発見と早期措置

適切な医療と合併症対策（健康診断など）

第三次予防；疾病の再発防止

リハビリテーションなど

私たちの専門分野であるリハビリテーションも第三次予防に組込まれるわけですが、実は私たち福岡県理学療法士会は5年以上前から第一次予防、傷害の予防や健康増進の取り組みを行ってきました。進みゆく高齢化社会の中であって『介護予防』の観点から、『転倒予防教室』や『体力測定会』を展開してきたのです。

福岡支部においては社会福祉協議会との協力関係のもと、地域の公民館等で20～30名の転倒予防教室を開催し、

平成 21 年度 64 箇所 参加者 1625 名

平成 22 年度 85 箇所 参加者 2298 名

平成 23 年度 89 箇所 参加者 2089 名

平成 24 年度 101 箇所 参加者 3072 名

平成 25 年度 127 箇所 参加者 3621 名

と、多くの県民の皆様に参加いただいています。北九州支部では様々な団体の健康イベントにあわせ『体力測定』ブースを設け、測定結果に基づいた効果的な健康指導を実施しています。また、筑後支部では行政（大牟田市）と連携して『介護予防教室』を実施するなど福岡県民の健康増進に寄与してまいりました。

現在、我が国は地域包括ケアシステムの推進・構築という難題に立ち向かっています。すなわち、すまい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供され、重度な要介護状態になっても住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを最後まで続けることができるシステムの構築です。これまでの私たち福岡県理学療法士会の取り組みはきっとこのシステムの推進に役立つものと確信します。そして将来に向かい貢献できる人材育成を推進するとともに、『介護予防』活動を地道に継続していくことが私たちの使命と思います。



理学療法 って?

急性期 リハビリテーション



回復期 リハビリテーション

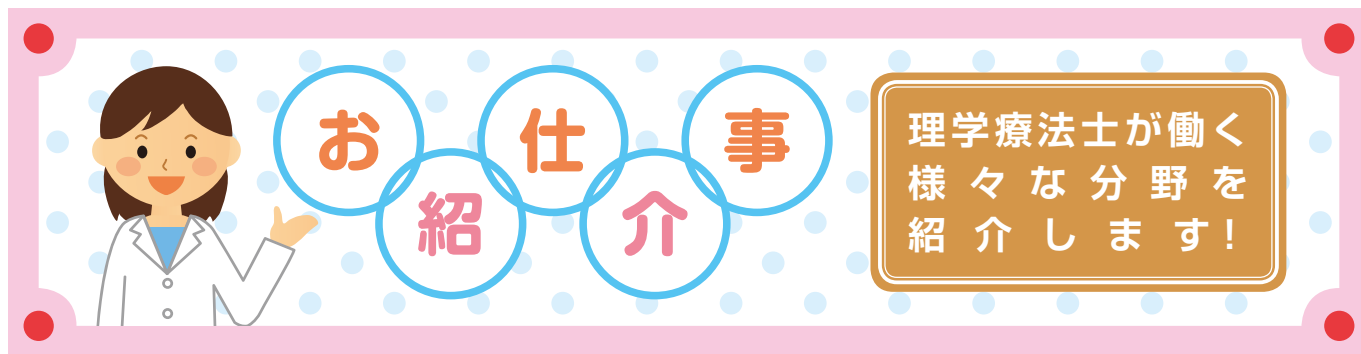


維持期 リハビリテーション

発病（発症）してから可能な限り早い時期に行うため、全身の状態が十分に安定していない方もあり、まず危険のないことを最優先に考慮して注意深く進めます。この時期は医学的に高度な治療が可能な医療機関で、廃用症候群の予防や日常生活の動作の訓練を実施します。全身の状態が安定して、積極的なリハビリテーションが可能になれば、回復期リハビリテーションへと移行します。

全身状態が安定し、徐々に可能な動作を多くしていく時期ですから、機能や能力の障がいの回復・改善を図り、日常生活の動作や生活の質を向上させることを目的に行います。急性期の経過を含め、的確な予後の予測を行い、基本的な動作、歩行、日常生活における動作などのゴールを設定します。患者さんや家族は、主治医から現在までの治療や機能の予後、合併症についての説明を受け、ゴールに向けたリハビリテーションを進めます。今後のライフスタイルに応じた居住環境の整備や外泊訓練を行い、患者さんの自立度と安全性を確認します。

回復期リハビリテーションが終了した後に、それまでに可能となった家庭生活や社会生活を維持し、継続していくことを目的に行います。地域リハビリテーションの一環として、健康管理や自立生活の支援、また、介護の負担を軽くするために、在宅や施設でいろいろなサービスが提供されます。現在、全国で都道府県リハビリテーション支援センターと地域リハビリテーション広域支援センターが中心となって、地域リハビリテーション体制の整備が進められています。



【急性期（内臓の病気）】

済生会福岡総合病院 専門理学療法士 野元 大氏

一般的に、急性期では疾患の治療が優先され、臥床期間が長くなることも少なくありません。しかし、長期の安静臥床は、循環・呼吸機能の低下や骨格筋量の減少など、廃用と呼ばれる身体機能の低下をまねき、機能回復・社会復帰が難しくなります。したがって、廃用を最小限に抑え、最大限の改善を図るために、できるだけ速やかなリハビリテーションを行うこと、つまり急性期のリハビリテーション（以下急性期リハ）が重要となります。

特に、近年急増している心臓・呼吸器・腎臓・代謝性疾患等の内臓の疾患の場合、活動を制限されるために廃用が出現しやすく、肥満・糖尿病・動脈硬化などにつながり、さらに悪化しやすくなるといわれています。このため、急性期リハが必要なのです。

また、運動療法だけでなく食事療法、薬物療法、患者教育、カウンセリング等をセットにした「包括的リハビリ」として行われると、その効果が倍増します。適切な治療を行うことで、心の健康を保ちながら改善を図っていくことが出来ます。

【スポーツ】

成田整形外科病院 染川 晋作氏

スポーツの現場でも、理学療法士は活動しています。その中で関わった1人の選手のエピソードを紹介します。

彼はチームのエースで大学4年生でしたが、その春に膝の大けがに見舞われました。手術を受けると最後の大会に出場できないため、彼は手術を受けず復帰することを希望しました。私は、病院での治療と併せ、練習に参加するようになればグラウンドでテーピングを巻き、コンディションチェックも行いました。再受傷しないか心配でしたが、彼は最後の試合まで走り続けました。「けがをする前の7割程度しかプレーできなかった」引退後に彼はそう話してくれました。ただ、その後に、「ここまでプレーできるとは思いませんでした。染川さんのお陰です。ありがとうございました。」涙が出るほどうれしい瞬間でした。



私は、理学療法士として病院に勤務しながら、スポーツ現場でも活動しています。理学療法士の活躍の場は幅広くあります。理学療法士として“その人のことがみえているか”が大切だと感じています。

これからも様々な分野について少しずつ紹介します。お楽しみに。

理学療法士会
九州ブロック

第 1 回 スポーツ大会 in 鹿児島



医療法人 天翠会
松井病院 為藤 健一郎 氏

11 月 8・9 日に、理学療法士協会九州ブロックでのスポーツ大会が鹿児島にて行われました。

今回の種目はフットサルで、同じ理学療法士と同じ趣味で交流を深められるということに惹かれ、参加させて頂きました。大会初日には懇親会が行われ、各ブロックの若手や諸先輩方と様々なお話をさせて頂き、競技をせずとも実りある時間を感じました。大会では白熱した試合が行われ、我々福岡は鹿児島・沖縄と予選を行い、何とか決勝トーナメントへ。しかし、準決勝で佐賀に惜敗し結果は 3 位でした。悔しい結果となりましたが、病院間を超えたコミュニケーションやチームワークは、今後の理学療法士としての活動にも非常に有意義であったと感じています。



医療法人 敬天会
東和病院 奥 崇詞 氏

今回、九州ブロックスポーツ大会に参加させて頂きました。全国でも初めての試みで、

県内外の繋がりが深まり、参加者にとって非常に有意義な時間を過ごすことが出来たと思えました。懇親会では、諸先輩方に気さくに声をかけて頂き、またたくさん見聞を広げることができ、今後の自分にとって良い経験になりました。次回、同大会が開催された際は、より多くの方、特に若い方にはぜひ経験して頂きたいと感じました。



公益事業推進部
Life Work

Standing
by your side

公益事業推進部は、飯塚国際車いすテニス大会、北九州 OPEN 車いすテニス大会など障害者スポーツ大会を始めとするスポーツイベントへの協力や、西日本国際福祉機器展、健康 21 世紀福岡県大会、県士会主催健康フェアなど県内各所での体力測定・リハビリ相談会の開催などの社会貢献活動を通じて、県民の皆様のお役に立てるよう活動しております。また、このような活動は、私たち理学療法士を広く認知していただくための啓発も兼ねております。

モール音楽祭 健康なんでも相談

当士会は、モール音楽祭健康なんでも相談コーナーに、今年度（平成 26 年 11 月 26 日）より参加させていただきました。当士会運営ブースには 120 名を超える来場者があり、体力測定と結果の説明、リハビリテーション相談へのアドバイスを行わせていただきました。ご参加くださいました皆様ありがとうございました。

今年は少々手狭なスペースでしたが、次回は少し広くなる予定です。来年も皆さまのご来場をお待ちしております。



第 6 回スペシャルオリンピックス日本夏季ナショナルゲーム・福岡



第 6 回スペシャルオリンピックスが、11 月 2 日の日曜日に福岡市のマリンメッセで開催され、当士会は、前日に実施されたヘルシーアスリートプログラムの中のフットケアブースを担当しました。

まず、参加選手の多さやその個性の豊かさに圧倒されました。さまざまな障害や背景を持った選手やボランティア

の方々が一堂に集い、日頃の練習の成果を披露し、交流を持ちました。選手の皆さんはイキイキと楽しそうで、私たちまで楽しくなりました。スタッフが足りず行列ができるほどでしたが快く待っていただき、測定内容やアドバイスも熱心に聞いていただき、心のこもった「ありがとう」の言葉にとってもやりがいを感じました。今回の関わりが、選手の皆さんの今後の生活や競技にプラスとなりましたら嬉しいです。



体 操

息を止めないように、数を数えながら行いましょう

5 足上げ運動

両膝を立てて上向きに寝ましょう
片足だけ膝を伸ばして、足を床から
20cmくらい上げましょう
そのまま 1・2・3・4・5
ゆっくり左右どちらも5回ずつ
繰り返しましょう



6 腹筋運動

両膝を立てて上向きに寝ましょう
へそを覗き込むように頭を上げましょう
息を吐きながら 1・2・3・4・5
反動を使わず、肩甲骨が浮くくらいの高さ
で止めましょう
ゆっくり 10回繰り返しましょう



7 背筋運動

四つ這いになり、片足の膝を伸ばしたまま
上げましょう
そのまま 1・2・3・4・5
足を上げすぎて反り過ぎないように
しましょう
ゆっくり左右どちらも5回ずつ
繰り返しましょう



**最後に大きく 3 回深呼吸で
終了です**

体操のページは、取り外して、壁に貼るなどして、使用して下さい。

腰痛

痛みのない範囲で、ゆっくりと行いましょう

背中はおもたれから

① 骨盤の運動



息を吐きながら、お腹をへこませ背中を丸くし、1・2・3・4
→息を吸いながら、へそを前へ突き出すように背中を伸ばして、
5・6・7・8

右側のお尻を持ち上げ1・2・
→左側のお尻を持ち上げ5・6・

③ 体幹前屈運動



足を軽く開き、両手を組んで、前にゆっくりかがみましよう
→息を吐きながら1・2・3・4・5

④ 体幹側屈運動



片手を上げ、上半身を横に倒し、
脇をしっかり伸ばしましょう
→息を吐きながら1・2・3・4・5



体操・・・座って

離して行いましょう

運動は、ゆっくり 3 回ずつ繰り返しましょう

② 股関節屈曲運動



3・4
7・8

膝を両手で抱え込み、太ももを上げて膝を胸に近づけましょう
→息を吐きながら 1・2・3・4・5

⑤ 体幹ねじり運動

⑥ 腹筋強化運動



足を組み、反対側の手を膝にかけ、上半身を反対側に捻りましょう
→息を吐きながら 1・2・3・4・5

両膝を伸ばし、足を上げましょう
→両足を挙げた状態で 1・2・3・4・5
→ゆっくり 5 回繰り返しましょう

最後に大きく 3 回深呼吸で終了です

寝て

腰痛

痛みのない範囲で、ゆっくりと行いましょう

1 骨盤の運動

両膝を立てて上向きに寝ましょう
背中で床を押し付けるように力を入れ、
1・2・3・4・5
ゆっくり5回繰り返しましょう



2 股関節屈曲運動

片方の足を伸ばしたまま、反対側の膝を両手で抱え、胸にひきつけましょう
そのまま1・2・3・4・5
ゆっくり左右どちらも2回ずつ繰り返しましょう
最後に、両方の足を一緒に曲げて抱え、
そのまま1・2・3・4・5
ゆっくり2回繰り返しましょう



3 体幹ねじり運動

両膝を立てて上向きに寝て、膝を左右に倒しましょう
そのまま1・2・3・4・5
ゆっくり左右どちらも3回ずつ繰り返しましょう



4 お尻上げ運動

両膝を立てて上向きに寝て、お尻を持ち上げましょう
そのまま1・2・3・4・5
腰を反り過ぎないように注意しましょう
ゆっくり10回繰り返しましょう



第 16 回西日本国際福祉機器展

西日本総合展示場で毎年開催される西日本国際福祉機器展に、今年も出展しました。当士会ブースには3日間(平成26年11月7日～9日)で延べ292名の来場者があり、盛況に終えることができました。ご参加くださいました皆様ありがとうございました。



健康 21 世紀福岡県大会



今大会では、214名の来場者に対して疾病・外傷予防の重要性を訴えることができ、たいへん有意義な大会でした。また、来場者からの質問、相談も多岐にわたり、福岡県民の健康への関心の高さがうかがえました。

今後も県民の保健・医療・福祉に貢献できる公益性の高い団体として、社会貢献活動を積極的に行っていきます。



支部だより



福岡県理学療法士会には、福岡・北九州・筑後の3つの支部があり研修会活動や、地域の皆様への転倒予防教室・さまざまなイベントへの参加など、各支部活発な活動を行っています。

福岡支部

福岡市立心身障がい福祉センター 松野 浩二 氏

福岡支部では、福岡市と近郊の市町村にて転倒予防教室を実施しています。

今年度から内容を一新しました。どのような身体状況の人が転倒しやすいのか、どんなところで転倒しやすいのか、また、体だけではなく頭も鍛えなければ転倒しやすくなることなどについて、わかりやすく講義を行います。その後ストレッチを参加者全員で行い、頭を鍛えるトレーニングや筋力増強運動を行います。



また、資料もわかりやすく写真も大きくしていますので、自宅に帰ってからも、資料を見ながらご自分で体操を続けて頂けると思います。

転倒予防教育を受けることで、転倒発生率が低下することも報告されています。今後も、地域で健康に生活できるように、理学療法士がお手伝いしていきたいと思っています。

北九州支部

東和病院 松尾 歩美 氏

体力測定会

平成 26 年 7 月 11 日、「理学療法の日」のイベントとして、サンリブシティ小倉店において体力測定会を開催いたしました。毎年開催することで参加して下さる方も徐々に増え、平日にも関わらず 264 名の方にご参加いただきました。骨密度をはじめ筋力・柔軟性・バランスといった体力測定を実施し、その後計測結果の説明・生活習慣等に関する健康相談を行いました。中でも骨密度計測の人气が高く、非常に好評でした。腰・膝の痛みや自宅での運動方法などの相談も多く、参加者の健康意識の高さを感じるとてもいい機会となりました。冬季は行橋地区にて開催いたしますので奮ってのご参加お待ちしております。



北九州支部 小倉リハビリテーション学院 藤井 弘通 氏

わっしょい百万夏まつり

平成 26 年 8 月 3 日、北九州市で毎年開催されるわっしょい百万夏まつりに、今年も会員、家族を含め 57 名で参加しました。踊りの最中は沿道から多くの声援を頂き、参加者全員楽しく、精一杯踊ることができました。残念ながら賞を獲得することはできませんでしたが、来年こそは…心を 1 つに頑張ります。更なる応援をお願いいたします。



筑後支部 新古賀病院 真鍋 靖博 氏

[各地で転倒予防教室開催!]

今年度、筑後支部では久留米、大牟田、八女で転倒予防教室を開催いたしました。

◎久留米市：新古賀クリニック通所リハビリテーションセンター

平成 26 年 10 月 19 日（日）

参加者 16 名

◎大牟田市：大牟田市労働福祉会館（中ホール）

平成 26 年 7 月 27 日（日）

参加者 31 名

◎八女市：総合保健福祉センターそよかぜ

平成 26 年 10 月 5 日（日）

参加者 31 名

たくさんの参加ありがとうございました。

日本理学療法士協会では、協会の設立日（1966 年 7 月 17 日）にちなんで、7 月 17 日を「理学療法の日」と定め、この日を挟んだ 1 週間を「理学療法週間」としています。

来年度も、筑後支部では「理学療法週間」に合わせ、各地で転倒予防教室を企画いたします。案内は各市広報誌にて行います。

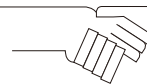
ぜひご参加ください。



人にやさしい物作りに努めています

(有) 荒井義肢製作所

〒807-1115 北九州市八幡西区椋枝2-10-12
TEL (093)618-4370
FAX (093)618-7585



◎義肢・装具・コルセット・車イス・杖類◎

(注)日本義肢協会 登録・九州104

有限会社 **中武義肢製作所**

☎805-0059 北九州市八幡東区尾倉1丁目2-19
TEL(093) 6 6 1 - 2 2 7 8
FAX(093) 6 6 2 - 2 6 4 9

平成 26 年度 功労賞者紹介 (順不同)

(有)いきいきリハビリケア 渡部 治実 氏

夫婦石病院 長澤 徳子 氏

ヨコクラ病院 江崎 正人 氏

柳川リハビリテーション学院 横尾 正博 氏

(有) いきいきリハビリケア いきいき那珂デイサービスセンター
渡部 治実 氏

この度、本年度の福岡県理学療法士会定期総会におきまして、功労賞を受賞できましたことは、ひとえに会員の皆様のご指導、助言があつての賜物と心よりお礼申し上げます。国立善通寺病院附属リハビリテーション学院を卒業し、福岡記念病院に就職してすぐに



県士会に入会し、28年になります。おかげさまで、現在も毎日、理学療法士として充実した仕事ができていることをありがたく、幸せに思っています。これを良い機会とし、一層の研鑽を積み、向上していきたいように努力してまいりますので、今後ともご支援を賜りますようお願い申し上げます。



◆ 『夢を叶える』 ~新人奮闘記~

田口詩穂 氏 (大木整形リハビリ医院)

現在、理学療法士として勤務しており、患者様とのコミュニケーションを心がけながら日々のリハビリテーションに携わっています。1年目で不慣れなことも多いですが、患者様にとっては何年目でも同じ理学療法士であるため、責任の重さも同じだと思います。そのため患者様の思いにこたえられるよう、現状に満足せず、知識や技術の向上に力をいれています。



Alter

ポータブル電気治療器 オルタシリーズ



移動の多い
リハビリ現場に最適な
ポータブル
電気治療器

SAKAimed

お問合せ・デモのご依頼は
福岡営業所 092-573-7133

※ 車いす・シーティング用品・福祉用具 ※
の
販売・レンタル

本 社/福岡県福岡市中央区天神5-4-15
工場・営業本部/福岡県糟屋郡粕屋町仲原2305
営 業 所/山口・北九州市・佐賀・長崎・鹿児島・那覇市

お問い合わせ：092-938-2208

有限
会社 夕キ商会

ふくおかふえ



運動習慣をつけていつまでも自分の足で歩きましょう

リハビリデイサービス リふる ゆくはし 松田 浩昭 氏

私たち人間が身体を動かす時に必要な、骨、軟骨、関節、筋肉といった身体を支えるパーツのことを「運動器」といいます。この運動器の障害のために歩行や日常生活に何らかの支障をきたしている状態を「ロコモティブシンドローム」といいます。

ロコモティブシンドロームが進行すると、要支援、要介護状態になるリスクが非常に高くなります。平成 23 年度の厚生労働省の調査では、要支援・要介護状態になった原因の第 1 位は「運動器の障害」であることが分かっています。

ロコモティブシンドロームの予防のためには、運動が重要です。まずは運動習慣をつけるために、自動車ではなく自転車や徒歩で移動する、エスカレーターではなく階段を使う、休日は家族と外出を楽しむなど、今よりたった 10 分くらいでも多く身体を動かすことから始めてみませんか？



理学療法士が選ぶ

「おすすめの本はこれだ!!」

会員の方より、おすすめの本をご紹介いただき、皆様に紹介していくコーナーです。医学書だけではなく、いろいろなジャンルの本の中から 1 冊選んでいただいています。是非、役立てていただければと思っております。



今回、おすすめの本を紹介していただくのは、北九州八幡東病院 小玉 みさ子 氏です。今後も、リレー形式で

いろいろな方に繋げていきたいと思っております。

本の題名：リハビリテーション
リスク管理ハンドブック
編 集：亀田メディカルセンター
発行所：メディカルビュー

紹介理由：これは、私が就職して最初に購入した本です。リハビリテーションにおいてリスク管理は必要不可欠ですが、多種多様、複雑多岐に渡ります。この本は、リスク管理のポイントが写真や表を多く掲載して分かりやすく解説されており、とても重宝している一冊です。

ISO 9001 取得 物理療法のバイオニア

伊藤超短波(株) 福岡営業所

〒 816-0088 福岡市博多区板付 5-18-17

Tel 092-573-6053

Fax 092-573-0218

URL: <http://www.itolator.co.jp>

E-mail: m-fukuoka@itolator.co.jp

Quality of Life MINATO ミナト医科学株式会社

リハビリ機器、測定関連機器(呼吸器・聴力・筋力・血圧等)、老健・福祉施設用関連機器の総合メーカーです。お気軽にご相談ください。

北九州営業所 〒802-0979 福岡県北九州市小倉南区遠力町1丁目10番8号
TEL 093(963)3610 FAX 093(963)3611

福岡営業所 〒812-0015 福岡県福岡市博多区山王2丁目2番22号
TEL 092(415)5353 FAX 092(415)5378

<Kさんコメント>

デイサービスに通い始めた当初は、今後のことに対し不安もあったが、私の生活に必要な動作など、理学療法士が細かくていねいに向き合ってくれたことで、スムーズに動けるようになりました。

デイサービスは自宅生活との関係性が近いいため、自宅での実際の環境や自宅での自分を想像しながらリハビリを頑張ることができています。

最近では、もっと生活動作が良くなる可能性を感じているため、リハビリの利用回数を毎週2回から4回へと増やすことにしました。



<担当理学療法士より・上田恵亮整形外科医院 柴田 祐希氏>



Kさんは、頸椎術後の入院中より、退院後の生活動作について不安を抱いておられたようです。退院後に来られたデイサービスでの見学で、ご自分の意欲に向き合ってもらえる個別の対応、実用性のある生活に近いリハビリテーション、などを希望されていました。

デイサービスでは大変積極的に理学療法を受けていただいております。基本動作能力の向上・歩行時の安定性向上・自宅での転倒やつまづき回数の軽減などの効果がみられています。

ぴしゃっと！記事大募集！！

以下の内容で、広報誌「ぴしゃっと」に掲載する記事を募集しています。

投稿いただける方(当士会会員に限る)は、HP 問い合わせフォームよりご連絡ください。

- ①表紙写真(会員が撮影したもの・絵画や書なども可)
- ②活動報告(理学療法士職域・仕事内容の紹介・リハビリ室紹介など)
- ③担当患者様のリハビリ体験記 など

*なお、投稿いただいた原稿は、編集担当者にて内容などを確認し、掲載の可否を御連絡させていただきます。ご興味のある方は奮ってご連絡ください。

編集後記

福岡県理学療法士会から県民の皆様に向けての広報誌、「ぴしゃっと」第2号の発行に際し、御協力いただきました方々に深く感謝いたします。今回、新たな試みとして体操ページを作成いたしました。このページは、冊子から取り外せますので、是非ご使用していただきたいと思っております。来年度も、さらに工夫を重ね、私たち理学療法士の活動を、県民のみなさまに知っていただけるような広報誌作成を目指します。お楽しみに。